



豊の国商人塾 公開ゼミナール (第36期第3回ゼミナール)

鳥の目・虫の目・魚の目

～物事の全体を見つめ、細部を見落とさず、
スピーディな身のこなしで、マネジメント～

■ 開催日時 / 令和 5 年 1 月 24 日 火 10:00～17:30

■ 開催場所 / 大分センチュリーホテル 2F 桜の間 大分市府内町1-4-28

参加
無料

講義 1

10:00～11:30



■ テーマ / 「サステナブルツーリズムへの道標」

■ 講師 / フランス観光開発機構 Atout France Japan GM 在日代表 Frédéric MAZENQ 氏

1995年パリ政治学院にて政治学修士号取得卒業後、1997年慶応大学日本語研修課程を修了。その後、フランス政府観光局(当時)日本事務所 IT、マーケティング・マネージャー、副局長を経て、2006年フランス観光開発機構中国事務所に副代表として着任。2011年～2015年代表を勤めた後、2015年7月より日本事務所在日代表およびアジア・太平洋、中近東地区統括責任者となり現在に至る。ラグビーワールドカップの2023年フランス開催、アフターコロナ、ウィズコロナ時代の、アウトバウンド観光復活を見据え、2022年観光キャンペーン用に機構初の試みとしてオリジナルアニメーションを制作し SNS 上で放映するなど、新しい手法で、観光地フランスのPR活動に余念がない。 ※日本語による講演です。

講義 2

12:30～14:00



■ テーマ / 「欧州の九州」

■ 講師 / 株式会社九州博報堂 代表取締役社長 江崎 信友 氏

1964年5月11日生、福岡県みやま市出身、早稲田大学第一文学部卒。1989年4月株式会社博報堂に入社、営業局にて食品メーカーを担当後、秘書室秘書役(会長付秘書役)を皮切りに、人事局部門の要職を歴任し、人事局局長を経て、2020年4月株式会社九州博報堂の設立にともない代表取締役社長に就任。九州博報堂設立にあたっては、「地域の情熱たちと、未来をつくる」ことを企業パーパス(目的、存在意義)に掲げ、「魅力あふれる九州の`愛される。価値を日本、そして世界へ発信し続ける。`失敗は経験に。成功は謙虚な自信に」が信条。趣味は登山、スポーツ観戦。

講義 3

14:10～15:40



■ テーマ / 「大分子のすゝめ ～おおいたの魅力を多面的に探る～」

■ 講師 / 一般社団法人大分子研究会 代表理事 榎本 譲司 氏

1950年別府市生まれ。大阪大学文学部史学科卒業後、1974年大分県庁入庁。統計調査、図書館、大分県史編さん、福祉、地域振興、文化振興、生活環境、企画行政等を担当し、2010年に退職。「大分子研究会」は、2011年発足、翌年一般社団法人の設立と同じくして、代表理事兼事務局長に就任。広く県民に浸透した同会が主催する「しんけん大分子検定」は、県内各地の多彩な魅力を多面的に深く知ることを目的に、毎年11月3日「文化の日」に開催。その他、おおいた合同新聞朝刊「教えてぶんぶん！大分子」の執筆や研究会活動の成果「大分子研究叢書」を発刊、おおいた魅力体験ツアーや食文化創造事業など多忙な毎日を送っている

講義 4

16:00～17:30



「本日の講義の振り返り」塾生によるグループディスカッション

■ テーマ / 「地域発イノベーション」

■ 講師 / 東洋大学国際観光学部教授 豊の国商人塾 塾頭 佐々木 茂 氏

グローバル・アイを磨く
私たちの日々の仕事は、常にローカルな方向を向いています。その時に、グローバルな視野で考えられたら。「鳥の目、虫の目、魚の目」で、物事の全体を見つめ、細部を見落とさず、広い視野からスピーディな身のこなしで、マネジメントに取り組むことができれば、一段と市場は拡大します。36期では、周囲の力を引き出すリーダーを目指して、自分自身の能力の限界を知ることから強みを生かす考え方を身につけていきます。具体的には、リーダーシップ、多角化、中国ビジネス、人的資源管理、サステナブルツーリズム、九州という視座、大分の文化的背景、海外ビジネスの可能性、DXでコミュニティの創造、文化としての日本酒、農産物のブランディング、社会のすべてを包摂した商店街、そして、レジリエントな企業の姿勢を学びます。学びと議論を通じて、大いに視野を広げ、強みを発揮していただきたいと思います。